GOOD DESIGN

湊から港へ
新潟下町あるき
日和山登山のしおり

みなとまち新潟 Starting point 150

日本遺産

湊から港へ

河口と島
砂丘と海岸の
記憶をたどる

新潟下町（しもまち）あるき

日和山（123m）登山のしおり

天保2(1831)年頃の日和山
長谷川雪旦「北国一覧写　出羽越後」(野内隆裕氏所蔵)より

日本遺産

2017年、新潟市は、文化庁が認定する日本遺産北前船寄港地・船主集落に登録されました。

河口と港から下町名所、そして砂丘と海岸線へ。歩いて感じる新潟の町。

川と港と海に囲まれた新潟の町は、時代の移り変わりとともに大きく地形や町並が変化してきました。信濃川の河口方面の下町は、その影響を特に強くうけたエリアです。

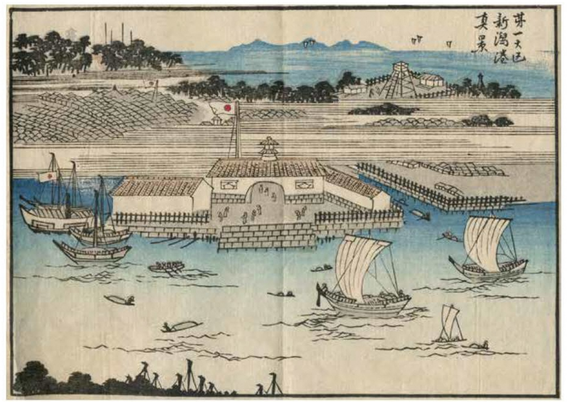
江戸時代に名所として多くの人が訪れた「日和山」と、明治開港後交流の中心地となった「旧税関庁舎」。この2つのポイントを中心に下町を歩くと、そうした町の成り立ちや歴史を体験することができます。

ここで紹介する「日和山登山コース」は、新潟の町の大きな特徴である「砂丘の高低差」を足で感じながら歩くコースです。名所ではお宝解説板も要チェック。歴史と出会う新潟下町あるきへ、どうぞおでかけください。

2015年の日和山(12.3m)

お宝解説板は
こちら!
設置場所は
右の地図で!

下町あるきへ
ようこそ!



「新潟県下　越後摘誌」明治10(1877)年より。手前が税関、その右奥に明治13年に大火で消失する前の日和山が見えます。

湊から港へ

日和山登山ルート

信濃川河口にある「みなとぴあ」。開港新潟の玄関口であった「旧税関庁舎」の門をくぐって登山ルートがはじまります。開港と時を重ねるように変化してきた下町の、みなとに関連のある名所をめぐりながら砂丘の坂道をのぼり、海岸線へ。意外なほど起伏に富んだルートは、新潟の町の特性や形成の歴史を感じさせてくれるでしょう。

旧税関庁舎の前の水辺は、かつての信濃川のほとりを再現したものです。
当時はここから荷揚げが行われていました。

新潟下町あるき　日和山登山のしおり

新潟市中央区 みなとぴあ～新潟下町 界隈

まちあるきの際には、近隣の方や通行する方のご迷惑にならないよう、節度ある行動をお願いいたします。

(見方・使い方)

折りたたんでページをめくるように見てください。

裏も同じように真ん中で折り返し、たたんでください。

●イラスト・写真：野内隆裕
　@にいがたなじらねっと　http://www.najiranet.com
●デザイン・本文：上田浩子
●協力：新潟市歴史博物館　みなとぴあ
●制作協力：roji-ren niigata

GOOD DESIGN AWARD 2013年度受賞
自分の町の楽しみ方 新潟の町・小路めぐり 新潟市都市景観賞 新潟

2011年受賞
公益法人日本都市計画学会
創立60周年記念事業
「自治体優秀まちづくりグッズ賞」

企画制作 新潟市
新潟市中央区学校町通1番町602-1　TEL.025-228-1000

※無断転載・複製を禁じます。

2010.3初版/10.5第2版/12.2第3版/13.3第4版/14.7第5版/15.11第6版
18.3.21第2回「ニイガタ安各賞」受賞記念 第7版/20.4第8版発行